

平成28年度第2回（11月）大磯町議会 議会報告会

議 会 報 告 会 資 料

（開催日）

- 1回目 平成28年11月13日（日）国府支所 午前10時～11時30分
2回目 平成28年11月13日（日）保健センター 午後3時～4時30分

資 料

議会議員の紹介	1～3
議会基本条例について	4～5
議会報告事項 平成27年度決算のおもな審査内容	6～10
添付資料1 前回報告の結果について	11～18
添付資料2 前回アンケートの集計結果について	19～22

議会議員の紹介（議員名簿）

町条例定数 14人
 現議員数 14人
 任期 平成27年7月16日～平成31年7月15日

議長

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
16	よしかわ しげお 吉 川 重 雄 	議長 総務建設常任委員会委員	無所属	4回

副議長

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
1	さかた ようこ 坂 田 よう子 	副議長 福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会委員	無所属	5回

監査委員（議会選任）

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
11	たかはし ひでとし 高 橋 英 俊 	監査委員 総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	4回

議会議員名簿

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
2	たけうち えみこ 竹 内 恵美子 	福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会委員 農業委員会委員	無所属	4回
3	せき たけくに 関 威 國 	福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会副委員長	無所属	2回
5	みさわ たつお 三 澤 龍 夫 	福祉文教常任委員会副委員長 議会運営委員会委員	無所属	6回
6	おくつ かつこ 奥 津 勝 子 	総務建設常任委員会副委員長 議会運営委員会委員長	公明党	4回
7	にのみや かずこ 二 宮 加寿子 	福祉文教常任委員会委員長 議会運営委員会委員 議会だより編集委員会委員 大磯町民生委員推薦会委員 (福祉文教常任委員会委員長として委嘱)	公明党	2回
8	せいた ふみお 清 田 文 雄 	福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会副委員長	無所属	1回

議会議員名簿

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
9	たまむし しほみ 玉 虫 志保実 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	1回
10	かたの てつお 片 野 哲 生 	総務建設常任委員会委員長 議会運営委員会委員 大磯町都市計画審議会委員 (総務建設常任委員会委員長として委嘱)	無所属	2回
12	すずき きょうこ 鈴 木 京 子 	総務建設常任委員会委員 議会運営委員会委員	日本 共産党	5回
13	わたなべ じゅんこ 渡 辺 順 子 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員長 農業委員会委員	無所属	4回
15	しばさき しげる 柴 崎 茂 	福祉文教常任委員会委員	無所属	4回

大磯町議会基本条例の概要

条例の重要項目	条文の概要	
①情報公開による 透明性の確保 ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第11条 ・第14条	前 文	議会は町民の代表機関、町政の立案・決定・監視、町民と協働のまちづくりの推進、議会活動の説明責任を果たす公正で透明、開かれた議会を構築する 本条例の議会運営のルールを遵守・実践し、町民から信頼され存在感のある豊かな議会を築くため不断の努力
	第1条 (目的)	開かれた議会で議事機関としての役割を果たす、町民の福祉の向上と豊かなまちづくりの実現に寄与
	第2条 (議会の使命)	町政の監視、政策立案の決定・推進
②町民参加と協働 ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第10条	第3条 (議会の活動原則)	町民を代表する議事機関、透明性等を重んじた開かれた議会、町民参加と協働
	第4条 (議員の責務)	自由な討論の推進、町民要望等の的確な把握、能力を高め町民の代表としての活動
	第5条 (町民と議会の関係)	本会議等の公開、情報の公開・提供、一般会議、請願・陳情は政策提案、議会報告会
	第6条 (町長と議会及び議員の関係)	質疑応答は論点・争点を明確にする一問一答方式、町長等反問権
③議員間の自由討 議と反問権 ・第4条 ・第6条 ・第9条	第7条 (重要政策の審議等)	町長等は重要な政策提案前に政策決定過程から将来コストなど7項目の情報提供
	第8条 (議会の議決事件)	まちづくり基本計画、町出資する法人出資
	第9条 (議会における自由討 議の拡大)	議会は言論の府であることを認識し、議員間の十分な討議による議会意思の決定等
	第10条 (議会の組織)	迅速・柔軟な委員会設置、参考人・公聴会制度の活用
	第11条 (政務活動費)	政務活動費を有効に活用、使途基準に従い適正に執行、使途の説明責任
④政策形成能力の 向上 ・第2条 ・第5条 ・第7条 ・第8条 ・第9条 ・第13条	第12条 (議会事務局の体制整備等)	議会又は議員の政策形成支援、町長等は財政・情報提供措置
	第13条 (議員の研修等)	議員の研修・政策研究を充実
	第14条 (議会広報の充実)	議会独自の視点から情報公開
	第15条 (議員の政治倫理)	町民の代表者として倫理性を自覚、町民の疑惑を招かない行動
	第16条 (この条例の性格等)	議会運営に関する最高規範、不断に見直し必要な措置
	附 則 平成21年11月1日から施行	

大磯町議会基本条例の全文をはじめ、議会活動については町ホームページ「大磯町議会」をご確認ください。

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/gikai/index.html>

編集・発行：大磯町議会事務局 TEL 0463-61-4100(内線281・292) FAX 0463-61-1991

大磯町議会



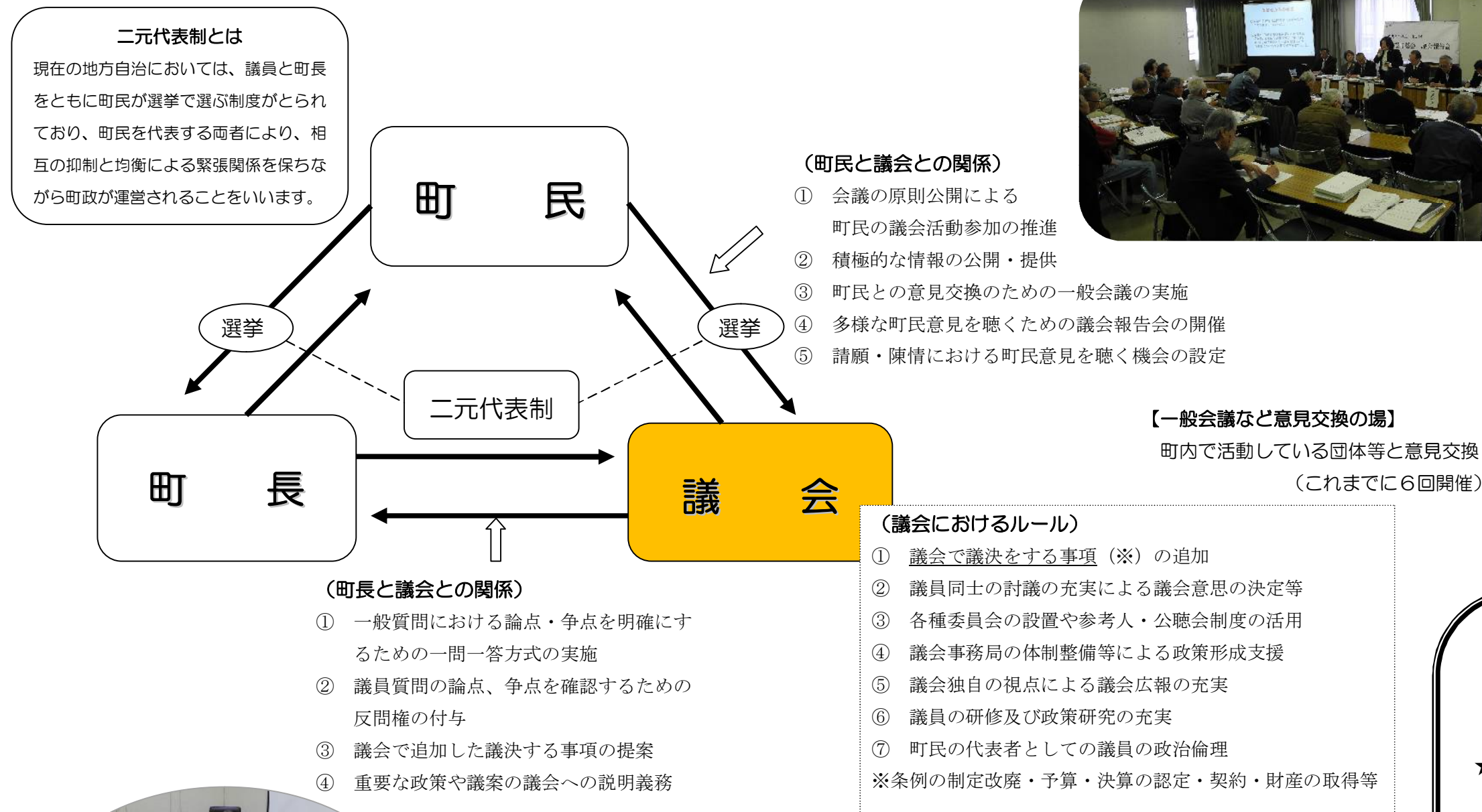
～ 議会の役割 ～

地方分権が進む中で、町の自己責任・自己決定の範囲が拡大し、二元代表制の一翼である議会が担う意思決定機関、行政の監視機関としての役割と責任は、これまで以上に重要となってきています。

このため、大磯町議会では、議会の役割と活動の指針を明らかにし、町民の参加と協働を推進するため、大磯町議会基本条例を平成21年11月1日に施行しました。

この条例は大磯町議会の最高規範であり、条例に定める議会運営のルールを遵守し、実践することによって、町民福祉の向上と持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的としています。

大磯町議会基本条例における町民との協働によるまちづくり



【定例会・臨時会】
議案の審議・採決など
議場でいき、SCNでテレビ放映している。
（平成27年中に20回開催）



【委員会・協議会】
議案、請願・陳情などの審査、町長からの重要事項の報告など
○議会運営委員会 ○議員全員協議会
○総務建設常任委員会・協議会
○福祉文教常任委員会・協議会
○議会だより編集委員会
○予算（決算）特別委員会 など
（平成27年中に委員会を56回・協議会を31回・勉強会を1回開催）

大磯町議会の紹介

★現在の議員の人数は14人
（男性：7人 女性：7人）
任期は平成27年7月16日から4年間

★議会改革度調査（早稲田大学マニフェスト研究所が全国の都道府県・市町村議会を対象とした調査）で、2015年のランキングは
全国で154位（町村では23位）

議会報告会

平成28年11月13日

－ プログラム －

- 平成27年度決算のおもな審査内容(40分間)
事務事業評価について
質疑応答
- 少人数に分かれて意見交換(45分間)

平成27年度 決算審査報告内容

1. 財政の概要について(議会だよりP2～3)

2. 主な決算審査の内容について(議会だよりP6～7)

①大磯運動公園 ④子育て支援総合センター

②防災備蓄品 ⑤生涯学習推進事業

③大磯港駐車場 ⑥国保・後期高齢者医療

3. 事務事業評価について(議会だよりP4)
観光振興対策事業

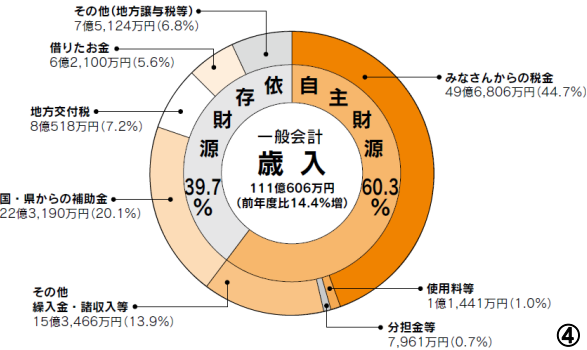
4. 審査結果(議会だよりP7・P9)
-

1. 財政の概要について

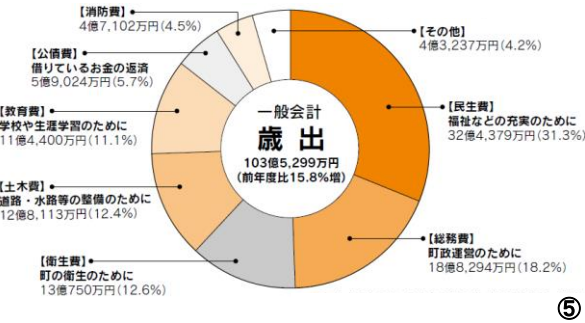
会計別	歳入	前年度比
一般会計	111億 606万円	14.4%増
国民健康保険事業特別会計	46億7,100万円	10.5%増
後期高齢者医療特別会計	8億 499万円	4.4%増
介護保険事業特別会計	28億3,530万円	4.3%増
下水道事業特別会計	14億7,618万円	4.0%減

会計別	歳出	前年度比
一般会計	103億5,299万円	15.8%増
国民健康保険事業特別会計	44億5,674万円	8.0%増
後期高齢者医療特別会計	7億6,656万円	3.7%増
介護保険事業特別会計	27億5,912万円	3.6%増
下水道事業特別会計	14億 848万円	6.7%減

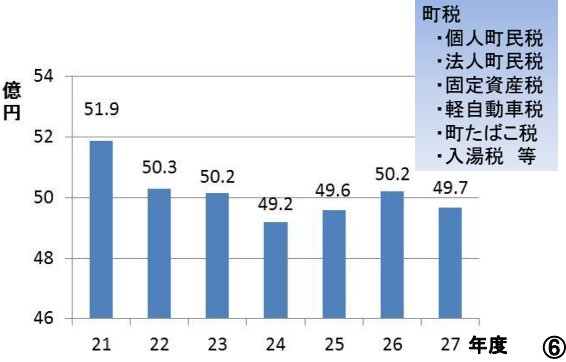
平成27年度 一般会計の構成(歳入)



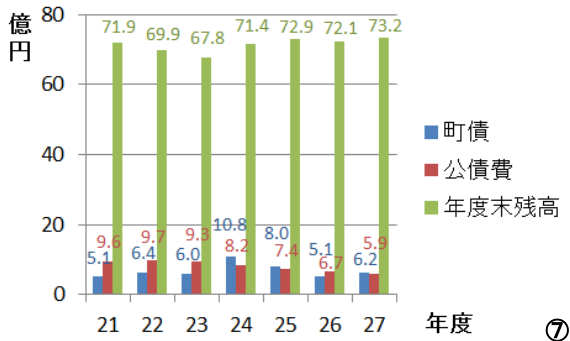
平成27年度 一般会計の構成(歳出)



町税収入の推移

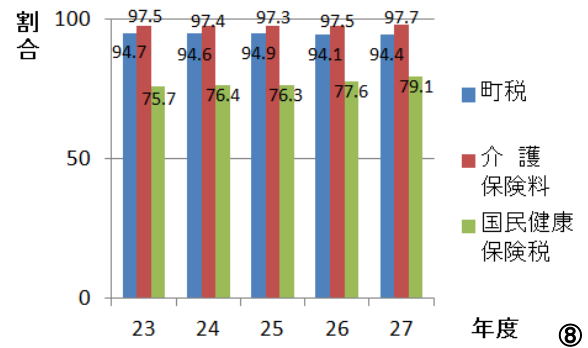


町債（一般会計）



⑦

町税などの徴収率



⑧

2. 主な決算審査の内容について

(議会だよりP6～7から抜粋)

- ①大磯運動公園の指定管理
- ②防災備蓄品
- ③大磯港駐車場
- ④子育て支援総合センター
- ⑤生涯学習推進事業
- ⑥国保・後期高齢者医療

⑨

大磯運動公園の指定管理



⑩



⑪



⑫



現地確認を実施

- 大磯小学校グラウンド
- 高麗公衆トイレ
- 町屋公園トイレ
- いくさわ西の池跡公園トイレ





国保・高齢者医療について

国民健康保険

- 加入者数 9218人
- 保険給付費は約27億円と昨年並み
- 一人あたりの給付費は昨年より増

後期高齢者医療(県・広域連合で運営)

- 加入者数 4856人

20

事務事業評価について

事務事業評価とは

27年度に町が行った577事業のうち210事業の評価シートが作成され、所管の職員が自己評価を行っている

決算特別委員会では、観光振興対策事業を選び、議会独自の評価を行った

選んだ理由

町が進めている観光事業を議会として検証する必要があると考えたため

21

観光振興対策事業

観光振興対策事業 1,862万円

主な支出先

- 観光協会事業補助金 979万円
- なぎさの祭典交付金 500万円
- 管理委託料 301万円
- 事業委託料 25万円

22

議会による 事務事業評価の結果

事務事業 の方向性	1	拡充する
	2	現状のまま継続する
	3	一部見直しのうえ継続する
	4	抜本的(事務事業の統廃合等)な見直しのうえ継続する
	5	休止・廃止する

23

賛成多数で可決

(認定 4名・不認定 3名)



24

反対意見

- 各事業が計画的に行われたのか疑問である
- 観光を定住に結びつけるのは無理がある
- 火葬料の減額は、間違った認識で理解できない
- 町内の特養の空きベッドが解消されていない
- 不必要な事業への支出をした

②5

賛成意見

- 4つの重点項目の執行状況は評価できる
- 各事業の必然性、優先度を考慮して執行された
- 実質収支額他、各収支も好転している
- 依存財源を活用した事業展開がされた
- 新たな事業が整合性をもって行われている

②6

議会報告会会議録	
1 開 会 日	平成 2 8 年 5 月 1 4 日（土） 午前 1 0 時 0 0 分 開会 午前 1 1 時 3 0 分 閉会
2 場 所	国府支所 2 階 第 1 ・ 2 会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 （開会あいさつ） 坂田よう子副議長（閉会あいさつ） 二宮加寿子議員 （司会進行） 三澤龍夫議員 （平成 28 年度予算の主な審査内容について） 片野哲生議員 （ ” ” ） 全議員 （少人数に分かれての意見交換） 関 威國議員 （記 録） 渡辺順子議員 （ ” ” ） 関 威國議員 （会場受付） 渡辺順子議員 （ ” ” ） 竹内恵美子議員 （マイク設置等） 奥津勝子議員 （ ” ” ） 高橋英俊議員 （写真撮影） 渡辺順子議員 （パワーポイント操作）
4 参加者	2 6 人
5 報告事項	（１）平成 2 8 年度予算の主な審査内容について （２）少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 7 年目を迎えた。今回は平成 28 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度予算の主な審査内容報告

・・・三澤龍夫議員、片野哲生議員

『議会だより大磯』第 182 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 一般会計が 100 億円を超える予算であるのなら、次世代へ伝えるような町の「宝」、財産があっても良いと思う。東京国立近代美術館で安田靉彦展を鑑賞し感じたことは、画伯が住んでいた大磯町が作品を 1 点も所蔵していないことである。平塚市美術館では 4 点所蔵している。文化勲章受賞の画伯の作品を、大磯町が「宝」として何点か所蔵していても良かったのではないかと思った。このことを考え積極的に取り組んでほしい。

答： 町にそのように伝え、議会も意識して考えていきたい。

問： 予算審査の報告だけでなく、議会が独自に取り組んだことも報告してほしい。例えば、11 月の議会報告会で机上配布となる陳情が多いといった意見があったが、その後、議会では対応したと聞いている。その辺の報告もしてほしい。

答： 陳情については取扱い基準を厳守し、しっかり遂行すべきであることを再認識した。議会運営委員会の中で、基準を確認しながら陳情の取扱いを決めている。

問： 国府橋の拡幅整備は 10 年来進んでいない。11 億円もの土木建設費があるが、国府橋に関する予算は幾らあるのか。特にバスなどが橋を通過中に大地震が起こったら大惨事になる。災害対策としても大事なところである。町長

の施政方針に災害に強い町づくりがなかったのは残念。副町長も橋の整備推進に係わり、来年度は国府橋の予算が組めるようにしてほしい。

答： 国府橋の予算は、不動産鑑定手数料 17 万円しかついていない。ご意見は町に伝える。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1 (町民 6 名・議員 3 名(竹内恵美子議員・二宮加寿子議員・高橋英俊議員))

意： 市町村合併に対する議論はあるのか。

意： マリア道の進捗状況はどのようなか。

意： 災害が多い。災害ごとの全体像を把握した中で、しっかりと対策をとってほしい。

意： 町長選挙と町議会議員選挙は同時に行わないのか。

意： シルバー人材センターの活性化のために、また、元気な高齢者をつくるためにも、シルバー人材センターの職種をもっと充実させ、皆に仕事がまわるようにしてほしい。

グループ 2 (町民 6 名・議員 3 名(関威國議員・清田文雄議員・鈴木京子議員))

意： イノシシ被害について、町に問い合わせをしたが担当者不在でその後も連絡がない。再度問い合わせしたところ、見に来ると回答をもらったが、その後何の連絡もない。

意： 六所公園のトイレが完成したが、維持管理等こちらから問い合わせしなければ、町側より何の話しもない。多額の費用をかけて作ったのだから引き渡し式ぐらい行うべきではなかったのか。作りっぱなしという感じがする。

意： 財源がないのであれば、大磯ブランドの特産品等をつくり販売すべきではないか。また、建物の高さ制限など規制緩和を図り、企業誘致を行うべきと考える。

意： スクールランチの味や量についてあまり良い評判を聞かない。スクールランチに地元食材はどの位使っているのか。また、その検証は行っているのか。

意： 町外の医療機関を利用した場合、予防接種等の金額が高くなる。医療の広域化を望む。

グループ 3 (町民 7 名・議員 3 名(三澤龍夫議員・玉虫志保実議員・渡辺順子議員))

意： 税収が下がり繰出し金が増えているが、歳入確保策はあるのか。必要なも

のに重点配分することが望ましいと考えるが、計画はあるのか。

意： 会館の修繕が見送られた。国府中学校の緊急工事で、会館修繕にしわ寄せが来ているのではないか。

意： 財政が逼迫している印象がある。出るお金はわかるが、予防できる具体策はないのか。町民に自覚を促すような町の具体的なアクションが見られない。

意： 広報掲示板に期限切れのチラシが貼ってある。悪質なケースは罰則が必要ではないか。掲示期限については、町でしっかり指導してほしい。

意： みなとオアシスは、2019年に本当にできるのか。漁協の建物は錆び、鉄筋が出ているところもある。建物が崩れるのではないかと心配だ。

意： 大磯町の待機児童数はどのくらいか。

意： 魚の朝市に行った。100円の魚を買うのに、駐車料金が350円かかった。集客を考え、駐車料金の割引券を発行する工夫も必要なのではないか。

グループ4（町民6名・議員3名（奥津勝子議員・片野哲生議員・柴崎茂議員））

意： 西湘バイパス二宮インターチェンジを出て国道1号（二宮）の交差点をスムーズに右折することができるよう、右折の矢印信号機を付けてほしい。今は青信号の時間が短くなかなか右折することができず危険だ。

意： 県道から小田原・厚木道路に行く際、新幹線のガード下を通るが、道が狭く非常に不便だ。道を広くしてほしい。

意： 伊藤博文邸やNCR跡地は今後どうなるのか。

意： 観光を進めると言いながら、町のトイレはあまりにも少ない。

意： 自主防災組織運営交付金が3万円に減額された。交付金額を上げてもらうことはできないのか。

（4）閉 会

議会報告会会議録	
1 開 会 日	平成 2 8 年 5 月 1 4 日（土）午後 3 時 0 0 分 開会 午後 4 時 3 0 分 閉会
2 場 所	保健センター 2 階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 （開会あいさつ） 坂田よう子副議長（閉会あいさつ） 柴崎 茂議員 （司会進行） 竹内恵美子議員 （平成 28 年度予算の主な審査内容について） 奥津勝子議員 （ ” ” ） 全議員 （少人数に分かれての意見交換） 玉虫志保実議員 （記 録） 鈴木京子議員 （ ” ” ） 三澤龍夫議員 （会場受付） 二宮加寿子議員 （ ” ” ） 清田文雄議員 （マイク設置等） 片野哲生議員 （写真撮影） 鈴木京子議員 （パワーポイント操作）
4 参加者	1 8 人
5 報告事項	（１）平成 2 8 年度予算の主な審査内容について （２）少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 7 年目を迎えた。今回は平成 28 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度予算の主な審査内容報告

・・・竹内恵美子議員、奥津勝子議員

『議会だより大磯』第 182 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 町税収入が落ちて入るが、町の収入を増やす策はあるのか。

答： 歳入確保の取組みとして、滞納徴収の強化、受益者負担の見直し、所有財産の処分など行政経営プランで掲げているが、実行できるかは今後の課題である。

問： 近隣自治体に比べ、前年度予算額に対する新年度予算額の伸び率が飛びぬけて大きくなっているが、理由はあるか。

答： ごみ処理広域化で、今年度大磯町はリサイクルセンターを建設する。この整備のため予算額が大幅に伸びている。

問： 1 市 2 町ごみ処理広域化推進事業は計画が変わったが、財政を圧迫しないか。財源の裏付けは大丈夫か。1 市 2 町の議会同士で情報交換を行ってほしい。

答： 今後、検討していきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分

かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ1（町民4名・議員3名（竹内恵美子議員・二宮加寿子議員・高橋英俊議員））

意： イノシシやアライグマなど動物被害が広がっているが、町は対策を行っているのか。

意： 自宅の井戸が防災指定井戸に指定されている。井戸は防災指定井戸としてこのまま維持していったほうが良いのか。

意： ごみ集積場所にカラスや鳥などが来て困っている。町でカラス対策を行ってほしい。

意： 道路のすれ違いが難しい場所がある。安全対策を行ってほしい。

グループ2（町民4名・議員3名（関威國議員・清田文雄議員・鈴木京子議員））

意： 旧東海道松並木維持のボランティアを行っているが、最近、町から情報が何もない。町は松並木をどのように維持管理していこうとしているのか。ボランティア活動に対する補助もなく、我々は費用を出し合い維持管理を行っている。

意： 議会ホームページの会議録がとても読み難い。行間を空けるなど読みやすくすべきだ。また、掲載時期も遅過ぎる。傍聴に行けない人のことも考えてほしい。

意： 町有地（遊休地）の有効活用を速やかに行ってほしい。

意： 買い物難民を出さぬよう、地元商店街の活性化を図ってほしい。

意： 各地で様々な災害が発生している。自主防災組織充実のため補助金を増やして欲しい。一律の補助でなく、人口や世帯数に応じた補助も考えるべきではないか。

グループ3（町民5名・議員3名（三澤龍夫議員・玉虫志保実議員・渡辺順子議員））

意： 今後、個人住民税はそれほど増えないと思う。法人税を増やす政策が必要だ。公害を起こさない企業を誘致してほしい。

意： 町長選挙の際、現職と違う候補者を応援したところ町に係わる仕事を外された。町民の意見を町政に反映しない、反対意見を取り入れない、町長のイエスマンしか置かない。このような町の姿勢は疑問である。

意： 津波避難タワーは必要なのか。それよりも、西湘バイパスに階段を付け、登れるようにした方がいい。

意： 法人会総会に町長が来ない。代理で出席する職員は観光の話しかしない。町が考える観光でいいのか。町民が喜ぶまちづくりが観光の基本ではないか。

意： 二宮町は、県営団地に植樹したり、ふれあい農園や空き家対策を行ってい

る。町の活性化のためには、農地の規制緩和で農地を解放することも必要ではないか。

意： 生活道路を確保し、面整備で住みやすい町にしてほしい。

意： 町、議会、住民が話し合うテーブルがない。

意： 高麗の祭りに議員の参加が少ないのは残念だ。高麗神社を通じ埼玉県日高市との交流がある筈だが、情報不足で町の関わり方が分からない。議会へ情報提供は無いのか、一部の議員しか知らないのか。今年は1300年祭があるがどうなっているのか。

グループ4（町民5名・議員3名（奥津勝子議員・片野哲生議員・柴崎茂議員））

意： 大磯港みなとオアシス推進事業は町民のためになるのか。

意： 津波避難タワーは、港の整備とセットで考えられなかったのか。

意： 人口が減ってきている。観光で定住化させると言っているが、観光を推進することを果たして町民が望んでいるのか。

意： 観光で良いのか。議会での議論はあったのか。

意： 大磯オープンガーデンの冊子があるが、地図の場所がわかり辛い。

意： 伊藤博文邸やNCR跡地は今後どうなるのか。

意： 自主防災組織運営交付金が3万円に減額された。3万円では満足な活動ができない。交付金を増やす考えはないか。

意： 駅前の自転車駐車を新しく建てたが、古い駐車がそのまま残っている。古い駐車場を残したまま一体どうしようとしているのか。

（4）閉 会
